



2021年11月22日

各位

会社名 株式会社 エプロ
代表者名 代表取締役グループ CEO 岩崎 辰之
(コード番号 2311 東証第一部)
問合せ先 代表取締役 CFO 吉原 信一郎
(TEL. 03-6853-9165)

2021年10月度 月次業績に関するお知らせ

当社は、2021年10月度の月次業績につきまして、下記のとおりお知らせいたします。
なお、業績数値は速報値であるため、以後修正される場合があります。

記

■ 2021年10月度の月次業績（連結）

(単位：百万円)

	10月度			期初来累計		
	前期	今期	前年比	前期	今期	前年比
売上高	366	397	109%	3,520	3,868	110%
D-TECH 事業	194	190	98%	1,865	1,889	101%
H-M 事業	107	115	107%	1,010	1,105	109%
E-Saving 事業	49	74	151%	362	633	175%
システム開発事業	14	16	112%	283	239	85%
持分法投資損益	0	△14	-	10	△79	-

(注1) 本資料の数値については監査法人の監査を受けておりません。

(注2) E-Saving 事業は、2020年4月より新設されたセグメントであるため、2020年3月以前の業績はございません。

(注3) 持分法投資損益は、TEPCO ホームテック株式会社（以下、THT）に関する損益を表示しております。

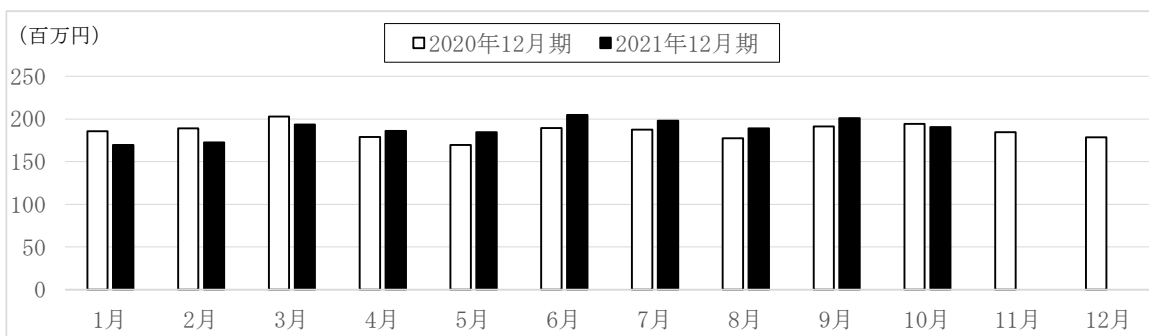
以上

■ (参考情報) 主な事業の業績推移

● D-TECH 事業 売上高

(単位：百万円)

	2021年12月期 (2021年1月1日～2021年12月31日)											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	169	172	193	185	184	204	198	188	200	190		
前年同月比	91%	91%	96%	104%	109%	108%	106%	106%	105%	98%		
うち、BIM 関連 売上高	0	1	7	1	0	1	1	1	3	0		
累計	169	342	535	721	906	1,111	1,309	1,497	1,698	1,889		
前年同期比	91%	91%	93%	95%	98%	100%	101%	101%	102%	101%		

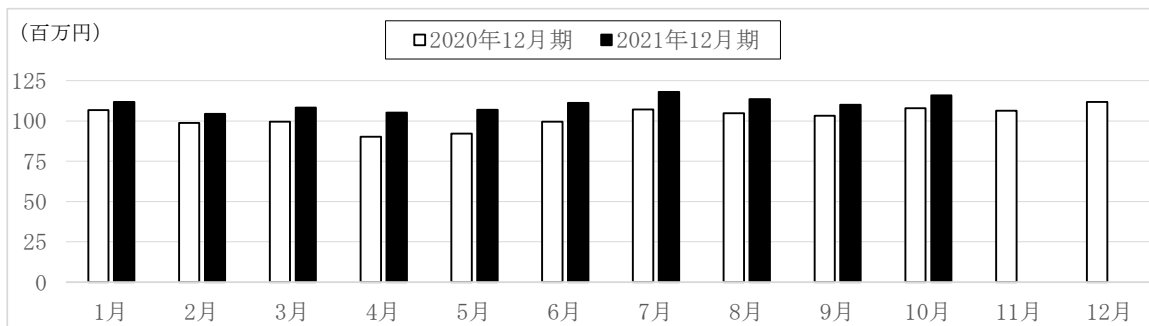


当月の売上高は190百万円（前年同月比98%）となりました。
その要因は、新設住宅着工戸数が増加基調にあり設備設計業務に関する設計受託件数が堅調に増加した一方で、一部得意先における建築設計業務（賃貸住宅）に関する受託件数が減少したことによるものです。

● H-M 事業 売上高

(単位：百万円)

	2021年12月期 (2021年1月1日～2021年12月31日)											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	111	104	108	105	106	111	117	113	110	115		
前年同月比	105%	106%	109%	116%	116%	112%	110%	108%	107%	107%		
うち、CRM 関連 売上高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
累計	111	216	324	429	536	647	765	879	989	1,105		
前年同期比	105%	105%	106%	109%	110%	110%	110%	110%	110%	109%		

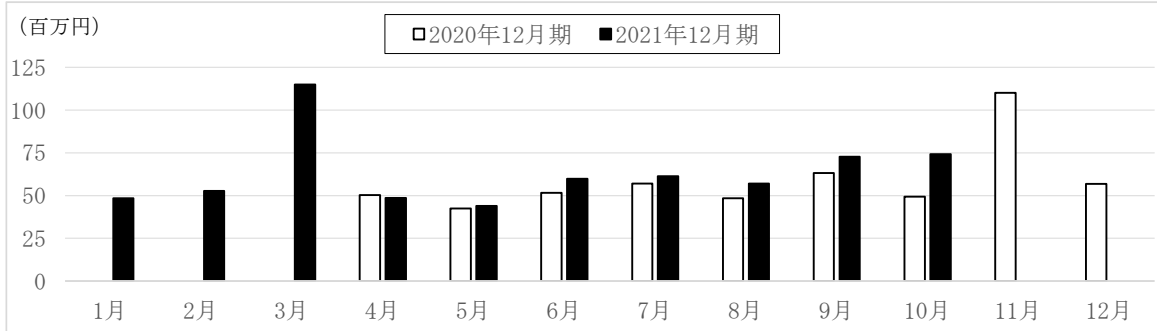


当月の売上高は115百万円（前年同月比107%）となりました。
主たる増収要因は、得意先（住宅会社等）からの管理顧客数が堅調に増加（2021年10月末現在158万件、前年同月比+3.6%）していることによるものです。今後はCRMクラウドサービスを強化して、家歴データとアプリを活用した新サービスの開発・提案に注力してまいります。

• E-Saving 事業 売上高

(単位：百万円)

	2021年12月期 (2021年1月1日～2021年12月31日)											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	48	52	114	48	43	59	61	56	72	74		
前年同月比	-	-	-	97%	104%	116%	108%	118%	115%	151%		
うち、THT 関連 売上高	0	1	6	0	1	1	11	5	4	8		
累計	48	101	216	264	308	368	429	486	559	633		
前年同期比	-	-	-	527%	333%	255%	214%	195%	179%	175%		

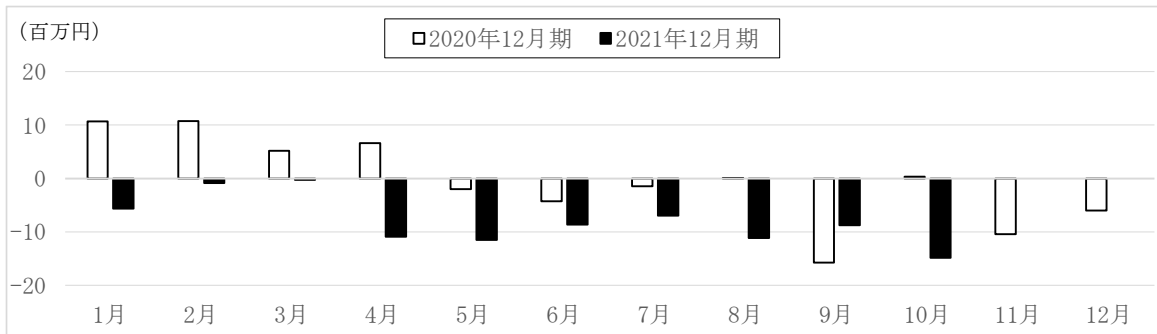


当月の売上高は74百万円（前年同月比151%）となりました。
 主たる増収要因は、TEPCO ホームテック向けの売上が堅調に増加していること（前年同月比+7百万円）及び他の顧客向け売上也蓄電池設置工事等が増加していることによるものです。
 ※ E-Saving 事業は、2020年4月より新設されたセグメントであるため、2020年1～3月度業績については該当ありません。

• 持分法投資損益 (THT : TEPCO ホームテック)

(単位：百万円)

	2021年12月期 (2021年1月1日～2021年12月31日)											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
持分法投資損益	△5	△0	△0	△10	△11	△8	△6	△11	△8	△14		
前年同月比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
累計	△5	△6	△6	△17	△29	△37	△44	△55	△64	△79		
前年同期比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		



当月の持分法投資損益は、△14百万円（前年同月0百万円）となりました。
 直近の持分法投資損益 (THT) は、東京電力グループの営業活動自粛により個人向けの電化リフォーム提案が減少している影響が続いております。一方で、直近では THT の太陽光発電システムのサブスクリプションサービス「エネカリ」が、野村不動産株式会社の分譲戸建てシリーズ「プラウドシーズン」に採用されました。今後は住宅会社や不動産会社と連携した新築向けのエネカリ拡販を更に注力し、2022年1月以降における売上増加を目指してまいります。

以上